



2014年4月24日

各 位

会 社 名 ヤ フ ー 株 式 会 社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 宮坂 学
(コード番号 4689 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 最高財務責任者 大矢 俊樹
電 話 03-6440-6170

ブックオフコーポレーション株式会社との資本・業務提携に関するお知らせ

当社は、2014年4月24日開催の取締役会において、以下のとおり、ブックオフコーポレーション株式会社(本社:神奈川県相模原市、代表取締役社長:松下 展千、以下「ブックオフ」)との間で、資本・業務提携契約の締結を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本・業務提携の理由

当社は、1999年に「Yahoo!オークション」(※2013年3月に「ヤフオク!」に改名)を開始して以来、日本最大級のインターネットオークションサイトとして業界を牽引し、わが国にインターネットの「中古市場」という新たな市場を創出しました。最近では、「ヤフオク!」の運営を通じて、“いつでも、どこでも、すべての人にリユースするワクワクを”のスローガンのもと、「つくる→買う→リユース」という循環型社会の構築にも積極的に取り組んでいます。

ブックオフは、1990年に神奈川県相模原市に中古書店「BOOKOFF」1号店をオープン、リアルな「中古市場」のパイオニア的存在として、現在ではフランチャイズ含め各種リユース業態を全国に約1,000店舗展開しています。事業ミッションとして“捨てない人のブックオフ”を掲げ、“モノを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラになること”を目指し、中古本・CD・ゲームに限らず、アパレルやスポーツ用品・ベビー用品・雑貨・携帯電話など、様々なモノの買取や販売を行っています。

両社は昨年7月よりすでに協働し、「福岡 ヤフオク!ドーム」において不要な洋服などを引き取って「ヤフオク!」と「BOOKOFF SUPER BAZAAR(リユースの大型複合店)」の店頭で販売するという取り組みを始めていますが、このたび、さらに両社の連携を強化することで新たな可能性を追求し、その結果リユースが“あたりまえ”となるような世界をつくるべく、業務提携契約を締結するとともに、当社からブックオフへ出資する資本提携を実施いたします。

2. 業務提携の内容

(1)「ヤフオク!」が「BOOKOFF」チェーン全店のマーケットプレイスに

「BOOKOFF」で買い取ったモノを「ヤフオク!」でも販売することで、“買うことをもっと身近に”。まずは、中古本の出品数 1,000 万冊を目標に。

「BOOKOFF」チェーンは、全国に約 1,000 店規模の実店舗を保有し、リアルリユースの市場では日本最大級です。現在、「本を売るならブックオフ～」というブランドの確立に成功し、「安心して売れる身近な場所」として買取ではお客様に圧倒的な支持を頂いておりますが、一方で販売面では商圈に限界があるなど、売れ残りの課題を抱えております。そこで、より販路を拡大するために、このたび当社と資本・業務提携し、「BOOKOFF」店舗で買い取ったモノを「ヤフオク!」上でも販売する取り組みを始めます。これにより「ヤフオク!」を通じて、いつでもどこでも「BOOKOFF」の商品が手に入るようになります。

まずは、「BOOKOFF」店舗にある中古本の販売を「ヤフオク!」上でも展開いたします。現在「ヤフオク!」では約 200 万冊の中古本の取り扱いがありますが、2016 年度までにこの 5 倍となる 1,000 万冊を目指します。これにより、「ヤフオク!」上の中古本の品揃えはインターネットサイトとしては日本最大級となり、中古本の購入がもっと身近になります。また、CD や DVD・ゲームソフトなど中古本以外の商品についても、「ヤフオク!」で販売してまいります。

(2)「BOOKOFF」チェーン全店が「ヤフオク!」のリアル拠点に

“売ることをもっと身近に”「BOOKOFF」店舗で総合買取受付窓口を設置します。

ネットリユース市場で日本最大級の規模を誇る「ヤフオク!」にも、いくつかの課題があります。そのひとつに、インターネットへの出品作業、落札後の梱包・発送などを非常に手間だと感じる人がまだまだ多いことがあります。ユーザーのこの課題を解決し、今後さらに多くの方がリユース活動に参加し、市場を活性化させるためには、新たな施策をうつことが必要と考えました。

「BOOKOFF」は、実店舗へ気軽に売りに行けるという利便性があり、またその場で買取をしてもらえるため、売り手の負担を小さくしているのが特徴です。当社は、全国にリアルの拠点を持つブックオフと協業し、出品に関する手間などの課題を解決しながら多数のリユース商品を「ヤフオク!」に流通させることで、一気にリユース市場を拡大すべく、このたびの資本・業務提携に踏み切りました。

具体的な取り組みとしては、「BOOKOFF」店舗内に「総合買取受付窓口」を今年 7 月に設置する予定です。これまで「BOOKOFF」では、店舗で販売している中古本・CD・ゲームソフト・携帯電話等の買取のみを行っていましたが（リユースの大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」や中型複合店「BOOKOFF PLUS」は除く）、このサービスを通じてホビー・アパレル・ブランド品・雑貨など買取品のラインナップを拡大することで、お客様の利便性の向上を図ります。買取した商品は「ヤフオク!」に出品することで、品揃えのさらなる拡充を図ることが出来ます。

この取り組みと併せて、昨年から始めた携帯電話の買取もさらに強化いたします。現在「BOOKOFF」チェーン全体で年間約 15 万台の携帯電話の買取を行っていますが、常時 100 万台を目指します。こちらも「ヤフオク!」での販売を進めていく予定です。

(3) 日本最大級のリユースセンターを開設(予定)

今回の取り組みを実現するためには、大量のリユース商品を「ヤフオク!」に出品するための物流施設が欠かせません。そのため、当社とブックオフでは、2015 年度中を目処に、日本最大級となるリユースセンターを開設する予定です。「BOOKOFF」店舗で買い取られ、「ヤフオク!」で販売される商品の一部をこちらのセンターに集約することで、リアルから「ヤフオク!」を通じてリユースできる仕組みを長期安定的に支えてまいります。

また、将来的にはフルフィルメントサービスやリユース市場の BtoB マーケットプレイスとしての活用など、日本の中古市場の新たな可能性を模索してまいります。

当社とブックオフは、ネットとリアルそれぞれの強みを活かし、リユースしやすい環境づくりを協力して推進していくことで、リユースの市場をさらに大きくし、リユース経験者 100%の世界を構築することを目指してまいります。

3. 資本提携の内容(新たに取得する相手方の株式または持分の取得価額)

ブックオフは、第三者割当により当社を割当先としてブックオフの普通株式 3,100,000 株(第三者割当後の所有議決権割合 15.02%)を発行する予定であり、また、ブックオフは、当社を割当先として新株予約権付社債 77 個(上記第三者割当後かつ本新株予約権を全て権利行使した後の所有議決権割合 43.22%)を割り当てる予定です。当社は、本資本・業務提携を推進するため、上記新株式および新株予約権付社債を全て引き受けます。第三者割当により当社はブックオフのその他の関係会社となります。

取得前後および割当前後の状況

① 普通株式の取得

i) 異動前の所有株式数	0 株	(所有割合 0%)
(議決権の数	0 個)	
ii) 取得株式数	3,100,000 株	(取得価額 21 億 7,620 万円)
(議決権の数	31,000 個)	
iii) 異動後の所有株式数	3,100,000 株	(所有割合 13.73%)
(議決権の数	31,000 個)	

② 新株予約権付社債の割当

i) 異動前の所有新株予約権付社債	0 個	
ii) 割当新株予約権付社債	77 個	(取得価額 77 億円)
(権利行使後の議決権の数	102,529 個)	

※なお、新株予約権の行使に際して定められる条件と行使割合は以下のとおりです。

- (a) 2015年3月期乃至2018年3月期のいずれかのブックオフの事業年度における
営業利益が22億円を超過した場合 行使可能割合:45%
- (b) 2015年3月期乃至2018年3月期のいずれかのブックオフの事業年度における
営業利益が27億円を超過した場合 行使可能割合:100%

4. 資本・業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	ブックオフコーポレーション株式会社	
(2) 所 在 地	神奈川県相模原市南区古淵 2-14-20	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松下 展千(のぶゆき)	
(4) 事 業 内 容	中古書店「BOOKOFF」の展開と、新規中古業態の開発・運営・加盟店経営指導	
(5) 資 本 金	2,564百万円(2013年12月31日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	1991年8月1日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ハードオフコーポレーション:7.19% 大日本印刷株式会社:6.58% 丸善株式会社:6.07% カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社:5.88% 株式会社講談社:4.27% 株式会社集英社:4.27% 株式会社小学館:4.27% (2013年9月30日現在)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社との関係者および関係会社と当該会社との関係者および関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社との関係者および関係会社と当該会社との関係者および関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取 引 関 係	当該会社は、当社のショッピングサイトおよびオークションサイトへの出店等をしております。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社との関係者および関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
連結純資産	12,738百万円	14,386百万円	15,249百万円
連結総資産	39,107百万円	37,983百万円	39,455百万円
1株当たり連結純資産	703.19円	784.19円	820.64円
連結売上高	73,345百万円	75,716百万円	76,670百万円
連結営業利益	2,748百万円	3,432百万円	1,914百万円
連結経常利益	3,157百万円	3,803百万円	2,366百万円
連結当期純利益	568百万円	1,867百万円	1,058百万円
1株当たり連結当期純利益	31.57円	102.41円	57.30円
1株当たり配当金	22.00円	25.00円	25.00円

5. 日程

業務・資本提携契約締結:2014年4月24日

払込期日:2014年5月15日

6. 今後の見通し

今回の契約締結により、サービスのさらなる拡充と収益の拡大を見込んでおりますが、具体的な計画は現状未定であり、数値により算定するに至りません。

(参考) 2014年3月期連結業績予想(2014年1月29日公表分) および前期連結実績

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
2014年3月期 連結業績予想	387,141	196,054	196,829	125,962
前期連結実績 (2013年3月期)	342,989	186,351	188,645	115,035

以上